パターン認識の有効な手法の具<u>体的やり方を解説!</u>

MTシステム習得

自社製品の総合判別ができる! 故障予知ができる!

MTシステムの活用の事例

- ・大型装置が1か月前に故障予知が出来るようなり損害が出る前に処置できた
- ・溶接強度の全数検査が非破壊でできるようになった
- ・外観目視検査、異音検査などの官能検査の自動化ができるようになった

本セミナーは、パターン認識の有効な手法であ るMTシステムの考え方と手順を、Excelを使っ た演習問題を通じて習得できます。

MTシステムとは Mahalanobis Taguchi System 多くのデータから総合的な判断値 (予測値) を出すことができ る方法で、パターン認識のやり方を提供しています. 正常な状態、平均的な状態を数学上定義するところに特徴が

あり、今まで困難とされていた課題を解決できた例も多くあ ります

故障の予知、事故の予知、犯罪の防止など、お客で発生する 損害を小さくする使い方が最近では多いです。

議師:中野 惠司

エキスパート.

有限会社アイテックインターナショナル 副社長

富士通テン㈱出身、オーディオ設計、 品質保証業務に従事の後,技術コン サルタントに転職. 多くの企業で成果を出し続けている





対象者

開発・設計・品質保証・検査・生産技術部門などの方

2017年1月17日以18日(水)

2日間とも10:00~16:00

場

WA東桜会議室 第三会議室 *地下鉄桜通線「久屋大通駅」徒歩3分

参加費用

54,000円(税込)

早割価格⇒48,600円(税込) 12/31までの申込み

持参物

筆記用具、パソコン(Excelをインストールしたもの バージョンは問いません

内容

- 1.Mahalanobis Taguchi System(MTシステム)とは 2.MTシステムの考え方と分類
- 3.Mahalanobis Taguchi 法(MT法)の進め方と概要
- 4.MT法に必要な予備知識
 - 5.マハラノビス(Mahalanobis)の距離とは
 - 6.MT法の実際の進め方
 - 7.項目選択のやり方≪診断≫
 - 8.両側T法(Taguchi法)とは
 - 9.両側T法の手順
 - 10.【演習問題】両側T法
 - 11.片側T法 とは 12.片側T法の手順
 - 13.【演習問題】片側T法
 - 14.複数T法とは
 - 15.余因子行列とは
 - 16.複数T法の手順
 - 17.【演習問題】複数T法
 - 18. 標準化誤圧法とは
 - 19. 実測値とは
 - 20. 標準化誤圧法の手順
 - 21.【演習問題】標準化誤圧法
 - 終了後:解析ソフト実演あり

参加申込み表

受付締切:1月13日 定員:25名

FAX(052-917-0712)orメール(<u>info@iteq.co.jp</u>)にてお願いします.

- 定員になり次第、締め切りとさせていただきます。
- ・お申し込み後、ご請求書と会場案内図を郵送にてご送付いたします。
- ・お支払いは請求書記載の弊社指定口座に銀行振り込みにてお支払いください

・お申し込み後のキャンセルはできませんので、代理の方のご参加をお願いします

会社名: 住所:〒 所属/役職: 氏名:

E-mail: TEL:

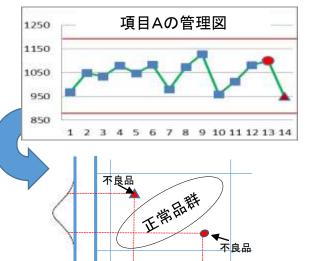


URL http://www.iteq.co.jp E-Mail info@iteq.co.jp TEL:052-917-0711 FAX:052-917-0712 有限会社アイテックインターナショナル 〒462-0844 愛知県名古屋市北区清水3-8-5

担当:伊藤、舟山

◆MTシステムの基本的な考え方

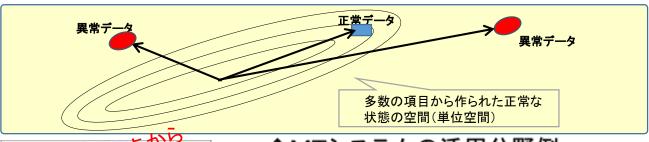
①下記管理図からは一見正常範囲内で正常だと思われるが・・・





②実際は項目AとBの複合した条件によって良品or不良品に分かれているため個々に見ていては不十分。

MTシステムは多数のデータの関係性を考慮しながら正常な状態のデータ群から検査対象のデータがどれくらい違っているかを距離(比)で表し正常か異常かを総合的に判断する方法。よって複雑なデータからより正確な解析が可能



建常を認っている。 発見できる。 発見できる。 一般のののは、1234567891011121311で 一般のできる。 単別できる。 単別できる。 東国が分かる。 原因が分かる。

◆MTシステムの活用分野例

▼IVII ノハ / ムい/li m // まア [ウ]	
分野	内容
製造	製造装置の加工データから装置の異常を検知(監視)
	工程途中のQCデータから処理続行可否を判定(監視)
	工程途中のQCデータから製品の出来栄えを予測
技術	製品試験項目の削減
	製品不良項目の絞り込み
品質	不良品の良否判定
	表示・印字品質の自動判定
	技能レベルの自動判定
その他	故障予測
	火災・衝突・故障などの監視
	薬品の効能予測・判定
	健康診断
	文字·音声認識